

平成 28 年 3 月 18 日
秋田市障がい者総合支援協議会

平成 27 年度秋田市障がい者総合支援協議会就労部会の総括について

部 会：秋田市障がい者総合支援協議会就労部会
部会長：秋田市障がい者総合支援協議会就労部会会長
委 員：秋田市障がい者総合支援協議会就労部会委員

1 平成 27 年度の目指すべき方向性と課題について

(1) 協議の方向性

平成 27 年度の就労部会における目指すべき方向性は次のとおりであった。

障がい者の就労環境の整備のため、障がい者の就労支援に携わる機関により、以下に掲げる課題に取り組むもの

- ア 特別支援学校卒業生等の就労系障害福祉サービス利用について
- イ 就労先の開拓について
- ウ 実習先の開拓について
- エ 障がい者の就労課題に特化した課題整理と検討

(2) 協議内容

(1)に掲げる目指すべき方向性を踏まえ、次の課題について協議を行うこととした。

ア 就労系障害福祉サービスについて

(ア) サービス利用に係るアセスメントの実施状況の確認および課題検討について

※就労系障害福祉サービス利用に係るアセスメントについて

平成 27 年度から、特別支援学校卒業生等の就労系障害福祉サービスの利用にあたっては、まずは就労移行支援事業所を利用し、一般就労が可能かどうかを見極めた上で、それが困難であると認められる場合に就労継続支援 B 型事業を利用することが原則となっている

(イ) 就労系障害福祉サービス事業所等における課題把握のための「課題検証シート」（仮称）の作成およびその利用について

(ウ) サービス利用者やその家族が抱える不安等を把握するため手法の検討

(エ) サービス提供事業所と就労支援機関による情報交換会や合同研修会の計画実施について

イ 就労環境の整備に向けた民間企業等への周知・啓発について

ウ 職場実習の体制整備について

(ア) 市役所および市関連施設における実習生受入について

(イ) 市の労働・農林部門との連携体制の構築に向けた検討

エ その他、部会で検討が必要と判断した事項

2 協議の方法について

今年度については、支援内容ごとにより具体的な協議を進めるため、協議の方法については、次に掲げる方法のとおり行うこととした。

(1) 運営会議の開催

「協議会」で協議のあった課題等について情報共有を図り、「部会」でのスムーズな運営を行うための準備やその方法等について確認または協議をするため「運営会議」を必要に応じて開催する。

(2) 部会の開催

協議会からの課題検討の依頼のあった内容や各部会の判断により独自に協議が必要と判断した事項について協議を行うため、必要に応じて開催する。

3 協議の経緯について (○：運営会議 □：部会 △：合同部会)

△H27.7.29(水) 第1回 合同部会および個別部会 あきぎんスタジアム会議研修室
PM1:30～3:30

- ・出席者：(相談支援部会) 斎藤委員、平野委員、宮田史子委員、畠山委員、船起委員、柴田委員
(就労部会) 牧野委員、畠山委員、加賀谷委員、近江委員
(児童部会) 小野寺委員、宮野委員、嶋田委員

・主な協議内容等

【合同部会全体会議】

- (1) 秋田市障がい者総合支援協議会の概要について
- (2) 秋田市障がい者総合支援協議会各部会の運営方法について

【各部会個別会議】

- (1) 部会長および事務担当者の互選について
- (2) 追加する委員について
- (3) 目指すべき方向性と27年度の課題について

□H27.8.28(金) 第1回 部会 あきぎんスタジアム会議研修室 PM1:30～2:40

- ・出席者：牧野委員(部会長)、畠山委員、堀野委員、加賀谷委員、近江委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【小川氏(天王みどり学園)、津村氏(就労支援センターこまち)、筒井氏(保戸野ハウス)】、事務局(障がい福祉課3名)

・主な協議内容等

- (1) 平成26年度活動状況と平成27年の活動計画について
- (2) 各委員より情報・意見交換

□H27. 9. 24(木) 第2回 部会 研修棟第4研修室 PM1:30~2:20

- ・出席者：牧野委員（部会長）、小松委員、近江委員、加賀谷委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【小川氏（天王みどり学園）、保坂氏（就労支援センターこまち）】、事務局（障がい福祉課3名）

・主な協議内容等

- (1) 課題検証シート（案）について
- (2) 秋田市就労支援事業所一覧 調査票（案）について
- (3) 各委員より情報・意見交換

□H27. 10. 30(金) 第3回 部会 研修棟第4研修室 PM1:30~3:00

- ・出席者：牧野委員（部会長）、畠山委員、近江委員、堀野委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【小川氏（天王みどり学園）、菊池氏（元気ハウス）】、事務局（障がい福祉課3名）

・主な協議内容等

- (1) 課題検証シートの取りまとめ状況
- (2) 秋田市就労支援事業所一覧調査票の取りまとめ状況
- (3) 秋田市商工労働部・商工労働課との連携状況について
- (4) 新規障がいサービス事業所について
- (5) 各委員より情報・意見交換

□H27. 11. 27(金) 第4回 部会 研修棟第1研修室 PM1:30~3:30

- ・出席者：牧野委員（部会長）、畠山委員、近江委員、加賀谷委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【小川氏（天王みどり学園）、筒井氏（保戸野ハウス）、藤原氏（ごろりんはうす）】、事務局（障がい福祉課1名）

・主な協議内容等

- (1) 返送された課題検証シートについての内容検討
- (2) 秋田市就労支援事業所一覧調査票について（報告）
- (3) 実習・就労先の開拓に向けた秋田市卸売市場見学（水産部門）について（報告）
- (4) 各委員・参加者より情報・意見交換

○H27. 12. 21(月) 第1回 運営会議 障がい福祉課内 AM9:00~9:30

- ・出席者：牧野委員（部会長）、畠山委員、事務局（障がい福祉課3名）

・主な協議内容等

- (1) 第4次秋田市障がい者プランにおける就労支援施策の取組目標および実施状況の確認

□H27.12.25(金) 第5回 部会 研修棟第4研修室 PM1:30~3:30

- ・出席者：牧野委員（部会長）、畠山委員、近江委員、小松委員、堀野委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【小川氏（天王みどり学園）、筒井氏（保戸野ハウス）、藤原氏（ごろりんはうす）】、事務局（障がい福祉課3名）

・主な協議内容等

- (1) 秋田市就労支援事業所一覧調査票（修正版）について
(2) 秋田市卸売市場見学（第2回目）について
(3) 第4次秋田市障がい者プランにおける就労支援施策の進捗状況の確認について
(4) 各委員・参加者より情報・意見交換

○H28.1.13(水) 第2回 運営会議 研修棟第5研修室 PM4:00~5:00

- ・出席者：（相談支援部会）斎藤委員（部会長）、平野委員、戸嶋委員
（就労部会）牧野委員（部会長）、畠山委員
事務局（障がい福祉課3名）

・主な協議内容等

- (1) 相談支援部会と就労支援部会の合同部会について
（就労継続支援B型利用に係るアセスメント体制の実施検証について）

△H28.1.20(水) 第1回 相談支援部会および就労合同部会 あきぎんスタジアム会議
研修室 PM1:30~3:30

- ・出席者：（就労部会）牧野委員（部会長）、畠山委員、近江委員
（相談支援部会）斎藤委員（部会長）、平野委員、岩本氏（戸嶋委員代理）、宮田雅恵委員、宮田史子委員、畠山委員、船起委員、柴田委員、石井委員、秋本委員、伊藤委員
設置運営要綱18条に基づく関係者【小野寺委員（児童部会）、成田氏（広面ハウス）
斎藤氏（びりーぶ）、小川氏（天王みどり学園）、保坂氏（就労支援センターこまち）
佐藤氏（秋田ワークセンター）】、事務局（障がい福祉課4名）

・主な協議内容等

【就労支援部会関係事項】

- (1) 平成27年度就労アセスメント実施に関する検証について

□H28.1.29(金) 第6回 部会 山王別館第1会議室 PM1:30~3:10

- ・出席者：牧野委員（部会長）、畠山委員、近江委員、小松委員、加賀谷委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【小川氏（天王みどり学園）、鈴木氏（白樺）】、事務局（障がい福祉課3名）

・主な協議内容等

- (1) 平成27年度の反省点と成果について
- (2) 次年度の検討課題について
 - ア 広報や市ホームページの活用
 - イ 農林分野との連携可否についての意見交換
 - ウ 新庁舎の活用（就労系障害福祉サービス事業所による販売スペースについて）
 - エ 課題検証シートの活用拡大
- (3) 各委員・関係者からの情報・意見交換
- (4) 秋田市卸売市場（花き部門）の見学および民間事業所との意見交換（実習、就労先の開拓）

4 協議結果：協議の成果と今後の検討課題について

(1) 就労系障害福祉サービスについて

① 協議の成果

- ア サービス利用に係るアセスメントの実施状況の確認および課題検討について
相談支援部会との合同部会を開催し、アセスメント実施のメイン機関である相談支援事業所と就労支援機関との意見交換を行ない、事前の準備をしっかりとしてきたことから、トラブルもなくスムーズに実施することが出来たとの評価を得られた。
- イ 就労系障害福祉サービス事業所等における課題把握のための「課題検証シート」（仮称）の作成およびその利用について
課題検証シートを作成し、本年度は、就労移行支援事業所（7事業所）と特別支援学校（6校：天王みどり学園を含む）を対象にして各事業所等での課題についてアンケート調査を実施し、寄せられた意見について、協議・検討を行った。
- ウ サービス利用者やその家族が抱える不安等を把握するため手法の検討
手法の検討までには至らなかったが、本部会からの要請により、市主催による就労系を含む障害福祉サービス利用についての説明会を利用希望者やその家族等を対象として12月に2回実施し、その際の質疑応答により、不安等の解消・把握に努めた。
また、障害福祉サービス等を利用する際に参考となる就労系サービスを含む障害サービスを提供する事業所名が記載された冊子（市発行の「障がい者のためのくらしのしおり」）について、事業所を選択するにあたっての判断材料となる詳細な事項（事業所での作業内容・作業時間・送迎有無など）が記載されていないことから、利用希望者などから情報不足による不安の声が一部で聞かれていた。そのため、部会として、就労系サービスを提供する事業所にアンケート調査を実施し、調査結果をもとに一覧表を作成し、気軽にいつでも携帯端末等で閲覧できるように市障がい福祉課ホームページに掲載した。

エ サービス提供事業所と就労支援機関による情報交換会や合同研修会の計画実施について

就労移行支援事業所を関係者として、部会へ参加要請し、委員との情報交換を図った。また、相談支援部会との合同部会にも関係者として参加して頂き、サービス提供にかかわる情報の共有に努めた。

また、部会では各委員等が必要に応じて、就労支援の関連情報を提供し合い情報の共有を図った。（障害者就職面接会、職業リハビリ推進フォーラム、アビリンピックなど）

② 今後の検討課題

ア 相談支援部会との合同部会を開催し、意見交換や課題検証を継続していく。

イ 課題検証シートによる調査対象を就労継続支援B型事業所に拡大し、さらなる課題把握に努めていきたい。

ウ 福祉・労働行政、支援学校、就業支援機関などにおいて当事者やその家族に対して情報提供し、サービス利用についての不安軽減を図ると共に、不安等を汲み取るためのツールの構築に努めていきたい。

エ 次年度も就労移行支援事業所からは関係者として就労部会に参加していただき、就労支援機関との意見交換や情報共有に努めていきたい。

(2) 就労環境の整備に向けた民間企業等への周知・啓発について

① 協議の成果

昨年度に引き続き、行政として民間企業との接点を担う市役所商工部商工労働課と連携を図り、同課が管理している企業データベースを活用し、今年度は「秋田障害者職業センター」の事業内容についての情報を約600社にメール配信した。同センターは、障がい者の就職の促進と職場定着を図ることを目的として、雇用側である企業を支援しており、情報配信にあたっては、障害者職業センター事業のPR資料を添付したもの（配信後に今回は企業からの問い合わせ等はなかった）

② 今後の検討課題

商工労働課と引き続き連携を図り、障害者雇用に関する情報（職場実習制度や支援学校の職場見学・体験・実習、各種助成制度などについて）を企業等に向けて発信するとともに、他の手法による周知・啓発についても、検討・構築していきたい。

(3) 職場実習の体制整備について

① 協議の成果

ア 市役所および市関連施設における実習生受入について

現在、障がい福祉課において、特別支援学校高等部生徒の実習受入を行っており、今年度は2名の受入れを行ったとの報告が事務局よりあった。実習中の作業内容については、事務補助的な作業が多く、就労に向け視野を広

げるといふ観点からすると広がりには欠ける部分もあるのではと感じられた。

イ 市の労働・農林部門との連携体制の構築に向けた検討

労働系部門となる市商工部商工労働課と連携し、前述の(2)に記載したように民間企業へ企業支援に関する情報等を提供した。

一方、農林部門に関しては、直接的な実習・就労先となりうる農業団体（農業法人等）と市との関連性の情報が少なかったことから、今年度は、間接的ではあるが、農水産関連部門との連携を模索するため、中央卸売市場管理室を通じて、部会委員による実地見聞として、市場見学および市場内の卸売業者（水産・花き部門）からの業務説明や業者との意見交換を行った。

卸売業者との意見交換では、就労時間や作業内容などの環境や求められるスキルといった今後の協議検討するにあたっての有益な情報が得られた。

なお、意見交換させて頂いた卸売業者からは、実習受入や職場見学受入れについて検討するといった前向きな意見もあり、実地見聞としての一定の成果は見られた。

② 今後の検討課題

障がい福祉課での実習受入は継続しつつ、市全体での率先した受入れが可能となるよう、引き続き検討・協議を重ねていきたい。

また、農林部門との連携については、今年度、連携を図ることができた中央卸売市場については、今回を契機と捉え、当該市場内の事業所での特別支援学校生徒等による企業見学や実習受入の可能性について検討してもらえるよう協議しつつ、加えて、昨今の国等による農福連携の動向を注視しながら、農業分野での職場実習が可能となるよう、秋田市として出来る事を前提として、市の農業振興部門を通じて、関係機関との連携体制の形成を図っていきたい。

5 今後の部会での協議等について

(1) 職場実習の体制整備について（継続）

(2) 市関係部署との連携による、障がい者就労支援施設等の工賃水準向上ならびに市民への障がい者理解促進につなげる手法についての検討

（例）

- ・市役所新庁舎及び公共施設での製品等の展示・販売会
- ・ホームページ等での販売促進

(3) 就労移行支援事業所との企業就労件数、就労に至った経緯および実習先についての情報共有による課題検証

(4) 就労支援関連情報を発信するための媒体（秋田市広報等）の活用方法

（障害者就職面接会や障害者職業センター説明会、職場実習受入企業募集などの情報について）

(5) 就労支援事業所（就労移行支援、就労継続A・B型）従事者を対象とした就労支援機関（部会委員）による就労支援についての研修会の開催

(6) 障がい者等の就労にかかる課題に関する整理と検討

（例）

- ・精神障がい者の平成30年度における雇用義務化と秋田市の現状
- ・難病を抱える方の就労支援
- ・就労支援に必要な生活支援制度 など